

絹中学区小中一貫校についてのお知らせ



平成27年8月 第3号

小中一貫校（絹中学区）推進委員会

●小中一貫校の施設整備等に関する基本計画が決定しました！

昨年度行いました、地域の皆さまへのアンケートや説明会でのご意見等を踏まえ、推進委員会で策定した新しい学校づくりに向けての方針を定めた基本計画（案）※を教育委員会へ提出し、今般、正式に小山市の「小中一貫校（絹中学区）施設整備等に関する基本計画」として決定いたしました。これにより、平成29年4月開校（予定）に向けた準備に小山市とともに取り組んでいきます。

※基本計画（案）は、平成27年5月第2号の会報でお知らせしました。

小中一貫校（絹中学区）施設整備等に関する基本計画【概要】

- 位置** 福良小、梁小、延島小を、福良小を校地として新しい学校としてスタートさせるとともに、絹中との小中一貫校とします。
- 名称** 地域の意見を聞きながら、全国の事例も参考にして、地域にふさわしい学校の名称とします。
- 施設形態** 既存の福良小と絹中の校舎を活かしつつ、小中一貫教育の成果をより得られるようにするため、施設が一体となる小中一貫校を目指します。

その他の基本方針など

スクールバス 通学距離及び通学時間が長くなる児童のため、スクールバスを導入します。

通学路 児童生徒が安心安全に通学できるようにするため、通学路における交差点の改良や歩行者空間の確保を検討します。

小中一貫校開校に向けた段階的な教育環境づくり

福良小、梁小、延島小、絹中の児童生徒が合同で学校行事等に取り組む機会を増やし、徐々に小中一貫校の教育環境に慣れるような配慮を検討します。

情報提供 「推進委員会会報」、「広報おやま」や市のホームページにより、進捗状況やスケジュール等に関する情報提供を行っていきます。

※「小中一貫校（絹中学区）施設整備等に関する基本計画」は、市ホームページで公開しているほか、絹公民館で配布をしております。

～ 推進委員会より地域の皆様へアンケートご協力をお願い ～



推進委員会では、今年度、平成29年度開校（予定）に向けて、より具体的な内容の検討を進めてまいります。その中で、地域の皆様には9月頃、新しい学校名等についてのアンケートをお願いする予定です。ご多忙かとは存じますが、よりよい学校づくりのためご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

小中一貫校（絹中学区）推進委員会 会長 上野 祥夫
副会長 坂本 恒美

この会報は、絹中学区にお住まいの方を対象に配布しています。

● 今後の推進委員会スケジュール(予定)



回	開催時期(予定)	主な検討内容等
第7回 推進委員会	平成27年7月8日(水) (開催済み)	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・検討項目と分担について ・スケジュールについて
第8回 推進委員会	平成27年8月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・項目*ごとの検討について ・(新)義務教育学校(小中一貫校)に関する法律について ・学校名等についてのアンケート
第9回 推進委員会	平成27年10月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・学校名等についてのアンケート調査結果の確認 ・予算を必要とする項目は、来年度の事業の詳細を決定する。
第10回 推進委員会	平成27年12月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・項目ごとの検討の方向性決定
第11回 推進委員会	平成28年1月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・項目ごとの検討の具体的調査および調整
第12回 推進委員会	平成28年3月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・項目ごとの検討の具体的調査および調整 ・新年度スケジュールの確認

※項目とは…学校名・スクールバス・学校備品・閉校式・開校式・PTA・学童保育などを指します。
推進委員会ではそれぞれにおいて、より具体的な内容を検討していきます。

～ 第7回 推進委員会における主な質問・意見等を紹介します ～

◎質問と回答

Q1：スクールバスの運行について、下校の時刻は、低・中・高学年、放課後活動などでそれぞれになるが、どのようにして運行していくのか。

→A1：今後、推進委員会にて検討していきたいと考えております。

Q2：教員の追加配当措置はありますか。

→A2：県教育委員会へ要望しております。

Q3：教育課程の調整はどこまで進んでいるのでしょうか。

→A3：できることから実施しようということで、現段階では3つの小学校の日課を合わせるなどしております。

Q4：小中一貫校としてどういう姿を求めているのでしょうか。

→A4：絹中と3小学校で連携して小中一貫教育の研究に取り組んでおり、現在、第3ステージ(発展的研究段階)に入っています。今後も4校で児童生徒の指導に関する共通認識を図り、絹地区の子どもたちにとって、よりよい形にしていきたいと考えております。

Q5：田んぼの学校などの活動は、今後どのようにしていくのでしょうか。

→A5：各種活動について、残していくもの、まとめていくもの等、今後、推進委員会で協議し、よりよい活動を展開していきたいと考えています。

◎意見

・地域の中では、状況がよく分からないという声もあるため、より情報周知に努める。

